

2020 度 第 2 回 計算科学技術部会 運営小委員会 議事録

2020 年 8 月 18 日

JAEA 奥村雅彦

1. 日時 : 令和 2 年 8 月 18 日 (火) 15 時 00 分～17 時 00 分
2. 場所 : ビデオ会議 (Zoom [ホスト: 板倉])
3. 出席者 (順不同、敬称略):
光安、鈴木(喜)、鈴木(正)、板倉、和田、酒井、稲垣、山下、大谷、奥村 (議事録作成)
4. 配布資料
 - 資料 2-1 議事次第
 - 資料 2-2 R2 年度計算科学技術部会委員名簿案
 - 資料 2-3-1 (令和 2 年度第 1 回) 運営小委員会議事録
 - 資料 2-3-2 (令和 2 年度第 1 回) 運営小委員会議事録 公開版
 - 資料 2-4-1 総務小委員会活動報告
 - 資料 2-4-2 企画小委員会活動報告 (2020 年秋の大会企画セッションについて)
 - 資料 2-4-3 出版・編集小委員会活動報告 (NL 第 34 号案)
 - 資料 2-4-4 広報小委員会活動報告
 - 資料 2-4-5 経理小委員会活動報告 (算科学技術部会 2020 年度予算について)
 - 資料 2-4-6 国際会議小委員会活動報告
 - 資料 2-5-1(1) 評価フォーム
 - 資料 2-5-1(2) 過去の受賞者一覧
 - 資料 2-6 Web サイト更新について
5. 議事内容
 - (1) 資料確認
板倉総務小委員長より本日の配布資料の確認が行われた。
 - (2) 前回議事録の確認
資料 2-3-1 に基づき、板倉総務小委員長より前回 (令和 2 年度第 1 回) 運営委員会の議事録の確認が行われた。
 - (3) 小委員会活動報告
各委員長より活動報告と今後の予定の報告が行われた。
総務小委員会
資料 2-4-1 に基づき、板倉総務小委員長より総務小委員会の活動について説明が行われた。
 - ・ 各委員に委嘱状が届いていることが確認された。
 - ・ R1 年度部会賞について、受賞者に対して賞状と盾が郵送済みであることが報告された。
また、費用については、総務小委員会が立て替え、経理小委員会で承認され、伝票・領収書・振込依頼書を学会に提出済みであることが報告された。
 - ・ 日本原子力学会 2020 年秋の大会における全体会議について、Zoom のホストに関する問い

合わせがあり、板倉総務小委員長がホストとなると返答したことが報告された。

- ・ 部会賞について、発表評価フォームと過去の受賞者リストの作成が報告された（資料 2-5-1(1)、資料 2-5-1(2)）。日本原子力学会 2020 年秋の大会では、参加可能な委員が Zoom で聴講し、採点后、総務奥村までメールで提出することが確認された。
- ・ 共催会議については、メール審議で承認済みであることが報告された。国際会議 ICFD2020 (Fifteenth International Conference on Flow Dynamics) については、会議のホームページに共催であることが記載されていることが報告された。また、CCSE ワークショップも共催予定であるが、詳細が未定であるため、詳細の決定後、メールにて委員に連絡されることが報告された。和田経理小委員長から共催費の有無について質問があり、板倉総務小委員長から共催費は必要ない旨、確認された。
- ・ 会議終了後に、全体会議で用いるスライドのテンプレートがメールにて配布されることが報告された。配布されるスライドの総務部分はアップデート済みであり、各小委員で該当部分を追記後、今月中に板倉総務小委員長までメールにて送付することが確認された。
- ・ 資料 2-2 R2 年度計算科学技術部会委員名簿案の交渉中である広報小委員会委員について、酒井広報小委員長から、会社の許可が得られなかったため、就任を断念することが報告された。それに伴い、今年度の広報小委員会は酒井委員長及び緒方委員の二人で運営されることが報告された。

広報小委員会

資料 2-4-4 に基づいて、酒井広報小委員長から広報小委員会の活動について報告がなされた。

- ・ 計算科学技術部会ホームページにおいて、部会長あいさつが公開されたことが報告された。
- ・ レンタルサーバーの更新について、メール審議で承認された後、学会に更新を依頼したことが報告された。
- ・ メーリングリストで「実験家のためのデータ駆動科学オンラインセミナー（シミュレーション科学とデータ科学の融合）」の案内を流したことが報告された。
- ・ R2 年度第 1 回計算科学技術部会運営小委員会議事録（公開版）を公開することが確認された。
- ・ 光安部会長から、2019 年秋の大会の企画セッション報告について、次の運営小委員会開催までに、企画小委員会が計算科学技術部会ホームページにアップロードすることが確認された。一方で、計算科学技術部会ホームページにおいて、大会、年会ごとに企画セッションのまとめがあったりなかったりするため、調査後、対応をメール審議することが確認された。
- ・ 光安部会長から、計算科学技術部会ホームページでの共催会議の情報の掲載の有無について質問があり、酒井広報小委員長から、確認できる限りの範囲内では、これまで共催会議の情報は掲載されていないことが報告された。

企画小委員会

稲垣企画小委員長から、資料 2-4-2 に基づいて企画小委員会の活動について報告された。

- ・ 2020 年秋の大会の企画セッションの日時が決定したことが報告され、詳細の説明がなされた。

- ・ 板倉総務小委員長から、計算科学部会のオンラインセッションの Zoom のルーム番号は 10 番であるため、企画セッションも同じルーム番号で行われることが確認された。
- ・ 光安部会長から、開催予定に記されている企画セッション、および、一般セッションの概要について、計算科学技術部会ホームページに掲載可能かどうか質問があった。板倉総務省委員長から、2019 年秋の大会の一般セッションの概要は作成済みだが、まだアップロードされていないこと、発表者には確認していないことが確認された。鈴木(喜)副部会長から、過去の講演に関しても、確認していないとの発言があった。和田経理小委員長から、著作権の観点から、概要公開については、講演者ではなく原子力学会に問い合わせるべきであるとの発言があり、板倉総務小委員長が原子力学会に問い合わせることが確認された。光安部会長から、with コロナの時代に向けて、できるだけ web に情報を載せておく方が良くと考えられるため、今後も積極的に情報発信をしていけるとよい旨の発言があった。鈴木(喜)副部会長から、計算科学技術部会ホームページに掲載する概要について、これまでは、一般講演については総務小委員会が、企画セッションについては企画小委員会が作成していたとの発言があった。

【委員会後追記】原子力学会に問い合わせた結果、要旨およびその摘要の転載は不可とのことだったため、現在 WEB ページに掲載されている要旨を削除することとした。

経理小委員会

和田経理小委員長から、資料 2-4-5 に基づいて経理小委員の活動について報告された

- ・ 経費についての確認が行われた。レンタルサーバーの更新について、予算の執行が承認された。消耗品等はそのままの金額で申請することが確認された。また、委託費については、光安部会長から、ホームページの議題のところで議論したいとの発言があった。
- ・ 光安部会長から、学会から要請されている予算の見直しについて、企画セッションの謝金はそのままの金額で、また、委託費も不確定であるためそのままの金額で学会へ返答する旨発言があり、合意された。
- ・ 光安部会長から、若手交流フォーラムはオンライン開催になるのではないかという質問があり、和田経理小委員長から今のところオンラインではなく、通常開催として予定されているとの発言があり、現時点では学会には通常開催として支出する予定であることを学会に返答することが確認された。また、和田経理小委員長から、申請が届いたらメール審議を行う旨、確認された。和田経理小委員長が、若手フォーラムの関係者とコミュニケーションを取り、情報共有していくことが確認された。

出版小委員会

山下出版小委員長から、資料 2-4-3 に基づいて出版小委員会の活動について報告された

- ・ ニュースレター第 34 号の巻頭言の内容及び写真使用について、光安部会長の承認が得られた。
- ・ 板倉総務小委員長から、山下出版小委員長へ部会賞及び議事録の情報を送ることが確認された。
- ・ 光安部会長から、ニュースレター第 34 号への全体会議内容の掲載について確認が行われ、前回学会の全体会議は開催されておらず、新委員の承認についてのメール審議のみ行われ

ているため、今回はこれ分かるように掲載することが決定された。また、2020 年秋の大会の全体会議については、全体会議で使用するスライドの内容を記載することが確認された。

- ・ ニュースレター第 34 号は 2020 年秋の大会前に出版されるのが望ましいが、それまでに一言一語の執筆者を決めて執筆を完了することは現実的でないため、今回は一言一語の執筆者を見送ることが提案され、承認された。また、次号の一言一語の執筆者の検討を進めることが確認された。一言一語の執筆者をどのようにして確保していたのか、山下出版小委員長が前任者に問い合わせることが確認された。
- ・ ニュースレター第 34 号に掲載する共催会議の情報について質問があり、板倉総務省委員長から、資料 2-4-1 に掲載されているように、CCSE ワークショップは開催日等が未定のため、国際会議 ICFD2020 だけ記載するよう回答された。また、大谷国際会議準備小委員長から、国際会議 SNA+MC 2020 について、後ほど山下出版小委員長へ文案が送付されることが確認された。
- ・ ニュースレター第 34 号の締め切りは 8 月下旬になることが確認された。
- ・ 表紙に掲載される図について、昨年度の CG 賞受賞作品を掲載する予定であるが、CG 送付の交渉は誰が行うのか、という質問があり、板倉総務小委員長が CG 賞受賞者に依頼することが確認された。

国際会議準備小委員会

大谷国際会議準備小委員長から資料 1-4-3 に基づいて、国際会議準備小委員会の活動報告が行われた。

- ・ 光安部会長から、部会に国際会議の黒字分が入金されるのは今年度か、という質問があり、大谷国際会議準備小委員長から、学会の事務局に確認する必要がある旨、回答され、和田経理小委員長が学会に問い合わせることが確認された。

(4) 『未来像検討』WG (仮称) 委員推薦について

- ・ 光安部会長から、鈴木(正)副部会長が担当してくださることです承を得ていることが確認された。
- ・ 鈴木(正)副部会長から、キックオフミーティングが行われたことが報告された。
- ・ 光安部会長から、『未来像検討』WG の委員活動は、計算科学部会にフィードバックはあるのか、それとも WG だけで閉じている活動なのか、質問があり、鈴木(正)副部会長から、閉じた活動である旨、回答された。

(5) 秋の大会での発表評価について

- ・ 総務小委員会活動報告で議論済み。

(6) 計算科学技術部会 Web サイトの更新について

- ・ 光安部会長から、資料 2-6 に基づいて、これまでの経緯を含めて、当議題について説明された。
- ・ 酒井広報小委員長から、維持管理については秘書ではなく、現在、他のホームページ管理

を任せている web の会社を立ち上げている方に委託することができると発言された。また、現在、ホームページの更新作業を進行中であるが、Wordpress よりも HTML の方が維持管理が容易であることから、リニューアル時に HTML にすることが提案された。光安部会長から、維持管理はリニューアル前でも可能かどうか質問があり、酒井広報小委員長から、今でも大丈夫だと思うが、今の段階であれば、広報小委員で維持管理を行う方が望ましいと回答された。光安部会長から、ホームページのリニューアル後、維持管理を委託する場合、広報の仕事はどのようになるのか質問があり、酒井広報小委員長から、メーリングリストの管理及びメーリングリストへの情報発信が主な仕事になると回答された。

- 光安部会長から、大学等での利用を想定した場合に、どのような情報が web にあると良いかという質問があり、酒井広報小委員長から、講義で閲覧することはあまりなく、ターゲットを絞る必要がある旨、回答された。鈴木(正)副部会長から、CG コンテンツの収集など、ホームページのリニューアルを原子力理解活動と結びつける方針だが、直接結びつけるのは難しいため、もっと単純な物の方が良いかもしれないとの問題提起がなされ、光安部会長から、原子力理解活動として何が適切なコンテンツなのかはすぐに結論が出ない問題であり、継続的な議論が必要であることが確認された。一方で、維持管理のためにはアップデートは必須であり、また、今あるコンテンツはホームページに掲載する方針であることが確認された。予算としては、国際会議 SNA+MC 2020 の入金の年度にリニューアルするのが良いとの発言があった。酒井広報小委員長と稲垣経理小委員長がホームページの更新の方向性を決定すること (HTML か他にするか) が確認された。また、もし原子力理解活動としての予算請求が必要であれば、予算請求をすることが確認された。維持管理は、酒井広報小委員長の提案を採用することが承認された。具体案を、部会員にもメーリングリスト等で通知し、春の年会で結果報告を行う旨、確認された。酒井広報小委員長から、予算が確保できるのであれば、東大が依頼した実績がある会社に頼むことが提案され、見積もりを次回の運営小委員会までに取得することが確認された。

(7) その他

- 鈴木(喜)副部会長から、表彰の募集の準備が必要であることが発言された。光安部会長から、web での告知、ニュースレターへの掲載、メーリングリストでの告知についてメール審議することが確認された。
- 次回
 - 表彰小委員会：日時：1月13日(火)13時から15時
 - 運営小委員会：日時：1月13日(火)15時から17時
 - ビデオ会議 (Webex もしくは Zoom を予定) で開催予定

以上